

●ためになるお話をありがとうございます

先日、合同会計の隅内社長と安達弁護士とお食事を一緒にさせていただく機会がありました。

人生の大先輩であります両先生のお話はとても興味深く、ためになるものばかりでした。

お一人の仕事や人生観、そして夜の帝王学（笑い）はとても参考になり、今後の人生に役立たいと存じました。



その中で隅内社長に教えていただいた「担雪埋井」（たんせつまいせい）の話がとても興味深かつたのでここでご紹介させていただきます。

「担雪埋井」とは禪の言葉で白隱禅師の言葉たといわれています。深い井戸を雪で埋めようと、何度も雪を井戸に放り込んで雪はすぐに溶けてしまう。何度も何度も繰り返しても報われず、徒労ではないかと思つてしまふ。

しかしこの言葉の意味するところは、井戸を埋めるという結果を求めているのではなく、たとえ無理だと分かっていてもそれを無心でやり続ける行為こそが尊いと教えます。その精神が必要なんだという教えとのことだそうです。

井戸に何度も雪を投げ込むと水温が下がり、ある時を境に凍りはじめ、その後はいつも簡単に雪で井戸を埋める事が出来るそうです。そのアドバイスは今の自分の励みになりました。自分を信じて進んでゆきたいと思いつります。これからもご指導をよろしくお願ひいたします。（ありがとうございます・不動産 豊田泰幸）

●妻と病院の先生にありがとうございます

私は若い頃から体力と健康には自信があり、怪我以外では一切医者にかかる事はありませんでした。酒豪を自負して深酒と飽食の日々を送つ

結果を教えてくださいました。そして先生は「一点気になる事があるのですが、もうすこし検査してみましょう。」とおっしゃります。

「もう帰りたいです！」と嫌がる私を受け付けてくれません。入院を延期して、内視鏡をしました。結果「癌」が発見されました。

手術が必要なくなりに大きくなっています。発見が遅れたら間違なく転移しています。元気です。妻と先生にいただいた命です。大切に生きていこうと思います。

（ありがとうございます・不動産 豊田泰幸）

（大田区/H・K）

●友人にありがとうございます

先日友人が亡くなりました。六一才でした。彼には留学中の息子さんと奥さんがいました。彼とは私と同じ車の受診したことはありませんでした。運営を迎え、妻が私の生活習慣を案して、ある医療機関の会員制のクラブに夫婦で入会しました。

妻が「こここの会費高いのよ。でもね年1回の人間ドックがついてるの。私受診したいなあ。一人じゃ不安だから一緒に受けてくれない？」私は渋々と妻の人間ドックにつきあって2日間入院することにしました。入院最後の日担当医の方が私の検査の結果



私は小さい頃からピアノを習っていました。大学生になると高校ではまり、多額の借金を負ってしまいました。親にはとても相談することもできませんでした。借金とりから執拗な督促：。



私は彼の最期のお手伝いが出来てとてもうれしく感謝しています。そしてたくさん思い出をありがとうございます。あなたの草堂を引き継いで車のリストアーを完成して愛車を大事にしてゆきますよ。アーメン

（目黒区/A・I）

●どん底の出来事にありがとうございます

私は彼と一緒に暮らす父はとても厳しい人で、奥さんや家族には私たちの関係は一種独特で入り込む余地が無いよう写つていて思ひ出があります。打ち明けられた私はショックでとても悲しい気持ちになりました。病気は癌ですでに末期だったようです。それだけ私たち車といふ深い絆で結ばれた友人だけなのです。それは車といふ車について語り合った夜。清里の別荘で奥さんは共に老後を楽しもうと思つていた友人だけに残念でなりません。

私は共に老後を楽しもうと思つていた友人だけに残念でなりません。



結果を教えてくださいました。そして先生は「一点気になる事があるのですが、もうすこし検査してみましょう。」とおっしゃります。

「もう帰りたいです！」と嫌がる私を受け付けてくれません。入院を延期して、内視鏡をしました。結果「癌」が発見されました。

手術が必要なくなりに大きくなっています。発見が遅れたら間違なく転移しています。元気です。妻と先生にいただいた命です。大切に生きていこうと思います。

（ありがとうございます・不動産 豊田泰幸）

（大田区/H・K）

私は彼と家族と一緒に清里までドライブをしました。帰りは彼と私がアルピーヌに同乗して、私の兄が家族と同乗して帰つてきました。

それが最後のドライブとなり、その数ヶ月後彼は帰らぬ人となりました。彼が亡くなった事は彼の奥さんからお知らせいただきました。彼は最後までの事を気にかけてくれていたようです。

私は彼と一緒に暮らす父はとても厳しく人生を送るのもあのどん底のおかげだなと思います。ありがとうございます。

（目黒区/T・K）

この間、孫が高校を卒業しました。勉強が出来る子じやないけどとてもやさしい子です。私やあね、やきもきしたもんだけ、卒業して大学も決まり、「安心だよ。卒業証書を私の家に持つて来て「おばあちゃん」見守つてくれてありがとう。仏壇に僕の卒業証書をお供えさせてください」だつて。

涙が出来ます。お礼を言いたいのはおばあちゃんの方だよ。おもい起こせば、今年大学を卒業した上のお兄ちゃんの高校の卒業の時だつたね。

娘夫婦と手紙を書いてさ

「僕が卒業出来たのはおとうさんおかげで、娘はわたくしへ来て「わーんわーん」って声出して泣いてたよ。私ももらい泣きしちやつた。おばあちゃんが長生きできるのはおまえ達二人のおかげだよ。本当に…ありがとうございます。」

（目黒区／鈴木 八七才）

涙が出来ます。お礼を言いたいのはおばあちゃんの方だよ。おもい起こせば、今年大学を卒業した上のお兄ちゃんの高校の卒業の時だつたね。



ジャクソン先生は学校の昼休み時間に急いで学校から徒歩5分の道のりを歩いてきました。ここテニアンの気温は日中だと30度を超える暑さです。ジャクソン先生が気の毒になり、私はキッチンのドアから外に出で

「申告書を私が預かって税務署が開いたら代わりに提出しておいてあげます。うちの車を使つていいから学校にすぐ戻つてください。」と薦めました。

先生は「そんな！」

「申し訳ないです。車はいいから歩いて帰ります。」と遠慮します。



「ジャクソン先生が今車を持つて

いてくれれば、私も手間が省けて助

かるのです！」と説明すると、納得してくれました。

実はうちの娘2人は学校で仕事をしてるので、いずれにしても私も後で迎えに行かなればならないのです。

「あなたの好意に感謝します。ありがとうございます。」と言われました。

私も「親切にしているように聞こえますが実はこちらも手間が省けて助かります。ありがとうございます。」とお礼を言いました。

好意と結果が瞬時におこるこんなやりとりは気持ちも明るくなりますね。ありがとうございます。

（テニアン島／michi）

た。

愛車との思い出はたくさんあります。

子供達の送り迎え。部活の試合観戦。家族旅行。仕事で行つた色々な場所。時に

はお客様との時間つぶしに車内で読書したり、昼寝したり、私にとつては大事な

パートナーなのです。

見積もりのためにデイラーに行きました。結果、オイル漏れやバーツの劣化を指摘され膨大な金額を提示されました。

自分自身けつこうまめにメンテをして

バーツ交換も車検以外のときにもしてきましたので、とても心外で「新しい車を購入させる気かな」としか思えない金額でした。

オイル漏れだつてすこしごらいあるのは当たり前で、海外でポンコツ車を乗

り継いだ経験のある私にはどうしても納得がゆかないものでした。

それにこの不景気です。なんとかやすく安全に上げる方法はないものか？

そのことをいつも行つているスタンドの男に子に愚痴をいいました。

「うちは整備工場もやつてまして、僕、

実はメカニックで車検担当をずっとやつて来ますから、実費だけください。あ

とはご自分で車検を通せばいいですよ。

アドバイスします。」

と一緒工場まで行つてくれジャッキアップして手際よく交換部品を確認してきます。

出てきた見積もりと作業項目は納得の行くものでした。

車検も通り、愛車は元気に走り回つてくれています。愛車よ今日も私を運んでくれてありがとうございます。そしてとても良い智恵をくれた若きメカニック君ありがとうございます。

次回の車検まで愛車を大事にします。

（横須賀市／N・N）

【携帯 De ショット】

蔓踊子草（ツルオドリコソウ）をいただきました。踊子草は、パレー衣装を着た踊子の姿がイメージできる白やピンクほどよく見ると花は欄のようにふっくらと優雅。花言葉は、陽気、快活です。



- 携帯電話の方はQRコードから→→→
- パソコンの方は下記のURLから↓
<http://1039.seesaa.net/>
- メールでのご投稿は…
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニックス総研・編集部

私が家の隣は税務署(Finance)です。今日四月一五日は確定申告の締め切りの日。キッチンの窓から外を覗くとテニアン高校の教師ジャクソン先生が税務署の中を覗いていました。税務署は昼休みで午後一時にならないと開きません。

●ありがとうと言わされた日

私はマリアナ諸島テニアン島在住です。

私の愛車は今年7才になり、3回目の車検を迎えました。仕事にも使つて車検を走行距離は12万キロを超えました。

●メカニックの若者にありがとう



お案が聞かれていた方に、「ありがとうございます」とお答えをもらいました。皆様からのご投稿をお待ちしております。

（ホロニックス総研）

